

見据えていくということが必要なので、今後、市政運営にさらにご期待申し上げますので、よろしくお願ひしたいと思います。

以上で私の質問を終わります。

○浅野敏明議長 なお、鈴木一則議員から早退させてほしい旨の届出がありましたので、ご報告いたします。

鈴木富美子議員の質問

○浅野敏明議長 次に、順位2番、議席番号10番、鈴木富美子議員。

(10番鈴木富美子議員登壇)

○10番 鈴木富美子議員 おはようございます。清和長井の鈴木富美子です。3月定例会は会派を代表して質問させていただきます。

冬季オリンピックが終わりました。長井市出身の鈴木沙織選手は残念ながらメダルには届きませんでした。日本の代表であり、長井市の誇るべき選手であると思います。ふるさとの環境があるからこそできたことだと私は思っております。未来の子供たちに、ふるさとのよさを私たちがしっかり伝えていかなければならないと思いました。

そして今日から冬季パラリンピックの開会です。スポーツは平和の祭典と言われております。しかし、毎日ロシアとウクライナの様子が報道されています。こんなことがあっていいのだろうか、多くの市民、将来ある子供たちまで巻き込んで、耳を疑いたくなります。一日も早く停戦になることを祈るばかりです。

話は変わりますが、今年の冬は例年にない大雪に見舞われ、雪かきに追われる生活でした。除雪費も約4億円強に膨らみ、排雪場所の野川橋付近は埋立地ようになり、この雪が本当に消えるのだろうか心配になります。こんな状

況の中、昼夜問わず除雪、排雪作業をしていただいた皆様に心より感謝申し上げます。早く春が来ること、そして新型コロナウイルス感染症が終息することを願っております。しかしながら、ガソリン、灯油、食品などの高騰が止まりません。これからどうなるのだろうか不安になる要素がいっぱいありますが、令和4年度に向けて明るい希望を持ち、市民の皆様が幸せに暮らせるまちづくりに邁進したいと思います。

それでは、質問に入ります。大きく2つの質問をいたしますので、明確な答弁よろしくお願ひいたします。

1つ目は、公共複合施設についてお聞きいたします。

令和3年5月に新市庁舎が開庁、長井市民文化会館の改築、給食共同調理場の新築、公立置賜長井病院においては今年の5月連休後にプレオープンを迎え、診療開始となります。第五次総合計画の後期基本計画及び第2期総合戦略に基づき、年度内の整備完了を目指し整備を進めているとお聞きしております。令和5年7月には、子育て世代活動支援センターと多機能型図書館の機能を持つ長井市公共複合施設、仮称、長井市遊びと学びの交流施設が完成する予定と伺っております。

公共複合施設について8つの質問をしますので、よろしくお願ひいたします。1から5については技監にお願ひいたします。

1つ目は、今年の冬の大雪による工事の遅れや除雪費の費用などに影響はなかったのか、お聞きいたします。

2つ目は、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外生産品の納入遅れが話題となっておりますが、公共複合施設の現場におきまして資材等の確保、材料の高騰などの影響はなかったのか、工期や費用に影響はないのか、お聞きいたします。

3つ目は、今年度末の進捗状況をお聞きいた

します。

4つ目は、令和5年7月の完成予定と聞いておりますが、西裏線の歩道工事が現在途中で終わっています。継続工事の予定や道路の拡幅工事の計画はどのようになっているのか、また、新市庁舎前の県道の道路計画も併せてお聞きいたします。

5つ目は、公共複合施設において、多機能型図書館の機能があり、駅舎と隣接していることから、夜間の開放や喫茶などの軽食提供などは考えているのか、お聞きいたします。

6つ目、公共複合施設のコンセプトである「学び・育ち・遊び・出逢いを紡ぐ場所」、多世代の居場所として、にぎわいや交流の拠点となる施設としていますが、高齢者の利用などを考えたとき、市営バスの乗降場所は施設内に設けるのか、現在の乗降場所である駅前との関わりはどのように考えておられるのか、総務参事にお聞きいたします。

7つ目は、公共複合施設は、子育て世代活動支援センターとして親子の交流、妊娠、出産、育児の切れ目のない支援を支える窓口機能を集約した施設としておりますが、子育てワンストップサービス窓口が現在市役所にあります。また、子育て支援センター「まざ〜れ」や地域子育て拠点「いろは」、そして令和4年度から新たにおひさま保育園の中に「にじいろ」を開設するとの説明がありました。いろいろな場所でそれぞれに支援することはすばらしいことだと思いますが、支援が分散しないのか、利用者がどうしたらいいかということで複雑にならないのか、また、公共複合施設の支援センターとの関わり方はどのようになるのか、厚生参事にお聞きいたします。

最後に、市長にお聞きいたします。

昨年5月に山形鉄道フラワー長井線長井駅と一体になった新市庁舎が開庁し、今まで分散していた市役所の機能を集約し、来庁者に分かり

やすく、また、職員の働く環境もよくなり、市民サービス向上に大いに寄与してると感じております。令和5年7月完成予定の公共複合施設は、市長の目指すコンパクトシティ構想の大きな取組の一つだと感じております。公共複合施設の機能や施設に対する市長の思いをお聞きいたします。

大きな2つ目は、長井市で働いている外国人労働者や市内に居住している外国人の交流について質問をいたします。

オリンピック・パラリンピックもコロナ禍の中で思うような交流もできなかったわけですが、今後もいろんな形で国際交流を進めていくとお聞きしております。長井市内にも海外から来ておられる人をお見かけしますので、身近なところからも交流ができるのではないのでしょうか。市内に住んでおられる外国人、外国人労働者に関しての市の対応について質問いたします。

1番、初めに、長井市内の事業所で働く外国人労働者は何人いるのか、また、外国人労働者を雇用している事業所は何社あるのか、商工振興課長にお聞きいたします。

2つ目は、市外事業所で働いていて、市内に住んでいる外国人労働者の実態は把握しているのか、近隣市町村との連携はあるのか、商工振興課長にお聞きいたします。

3つ目は、コロナ禍の中で事業所訪問は難しいかもしれませんが、外国人労働者が働いている事業所の実態を把握するとともに、長井市として定期的に事業所訪問はしているのでしょうか。過去に解雇の問題で議論したこともあります。外国人労働者に限らず、事業所の情報を得ることが重要だと思いますが、産業参事の考えをお聞きいたします。

最後、4つ目、外国人労働者の言葉の壁は大変だと思います。事業所と話し合いも必要かと思いますが、言葉の教室などのサポートや悩みの相談窓口が必要なのではないのでしょうか。姉

妹都市、交流都市の交流はもちろんですが、長井市に住んでおられる外国人の方々を含め、都市交流推進室に相談窓口を開設してはどうでしょうか、市長の考えをお聞きいたします。

以上で壇上からの質問を終わります。ご清聴ありがとうございました。

○浅野敏明議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 清和長井を代表しての鈴木富美子議員の代表質問にお答えいたします。

議員から大きく2つほどご質問、ご提言いただいております。私は、それぞれ1点ずつお答えを申し上げます。

まず最初に、公共複合施設について、コンパクトシティ構想に基づいた公共複合施設の在り方についての考えはというご質問をいただきました。

簡単に申し上げますと、先ほど鈴木一則議員のご質問でもお答えしたんですが、市のほうでいわゆる公共複合施設としてこういった箱物を造るのは、恐らく単独でやるのはこれで終わりなのかなと。ただし、今後、地元の皆様とも相談しなきゃいけないんですが、文教の杜周辺、いわゆる国の重要文化的景観の指定を長井市はいただいているわけなんです、その主に宮・小桜街区と、それからあら町、館町のその2か所がそういう景観の構築物の点在してるようなわけですけども、そちらについては面的整備をしよう。箱物については、建物については個人所有ですから、例えば町並み、電柱の地下埋設であったり、より歩きやすいように石畳とか水路を目に見えるような形で通りに出すとか、あとは板塀とか、そういったところの支援をしていただきながら、舟運文化で栄えた長井のまち並みを観光交流のお客様により親しんでもらおうという整備はしなきゃいけないと思ってるんですが、箱物のはこれで終わりかなと思っております。

今ようやく着工できたわけですが、補助率の

非常に高い、5割というのは通常の国土交通省の補助事業では一番補助率が高く、なおかつ交付税措置などを認められる起債なども活用して、できるだけ負担のない形で進めたいと思っておりますが、置賜地方では、今、高畠町の施設、あるいは米沢市のほうでも同じような子供の屋内遊戯施設などを造ろうという動きもございますけれども、恐らく私どもで多機能型図書館と子供の屋内の遊戯施設等々の複合施設というのは、現在進めている山形市の2つ目のべにっこひろばの計画、あとは、現在のべにっこひろばと天童市のげんキッズと、あとは東根市のタントクルセンター、それを上回る、あるいは上山市でもめんごりあとがありますけども、より魅力的なものになるだろうと思っておりますので、待っていただいた分、子育て世代の方に、あるいは多機能型図書館も従来の図書館と全く違うような環境の中で、いろんな楽しみ方、利用の仕方があるかと思っておりますので、十分に満足していただけるものと思っております。

内容については、もうご承知のとおりだと思いますので詳しく触れませんが、今後コンパクトシティって考えたときに、何の要素が足りないかということ、先ほども申し上げましたけども、一番はショッピング機能がもう本当に衰退してしまったと。地区長会の総会でもこの2月あたりに話してきたんですが、1つは、例えば紳士服、買えるところがないんですよ。議員の皆さんはどこで買われているかですが、ワイシャツも選べない、買う気になればしまむらとかで買えるかもしれませんけども、ネクタイもなかなか買えない。ましてやスーツ買えるところというのは、昔は末広も、なくなった新橋なんかでもいろいろなところで買えました。でも今はそういうのは買えません。

一番困ってるのは、子育て世代でいえば、子供服の買えるところが本当なくなってしまったということのようですし、あと、子供たちがよ

く行きたいファミリーレストランの中で、個別の名称は申し上げませんが、もう少しバリエーションあったほうがいいですし、ましてや回転ずしが無いというのは致命的だと。ですから、その辺がやっぱりもうちょっと違う要素が必要だろうということで、一番は、置賜3市5町で、高畠町にある、湯るつとをやっているわけですが、やっぱり長井市から行くにはかなり遠い。特に冬場はかなり大変ですんで、したがって、タスの中にフィットネスありますけれども、あそこまた違った形でもう少し楽しめるようないわゆるスポーツジム等々が必要だろうということと同時に、ショッピングモールみたいなものがまちなかにも都市機能としてあれば、随分にぎわいが違ってくるだろうと。

多分今回の複合施設ができることによって大きなぎわいができますので、あと、本町通りに加えて駅前通りもどんどん変わってきますと、民間の例えば地元資本だけじゃなくて、ほかの大手の資本なんかでもぜひ出店したいなというような、そういうふうにしていただけるようなぎわいをつくる必要があるんだろうなと思っております。したがって、それらについては市ではもうできませんので、手法としては、都市の再開発という事業で、いわゆる民間事業者も、国・県とかあるいは我々市町村の支援を受けて、最大で3分の2の支援を受けられる事業があるんですね。こういったものを長井市の中で、特に中心市街地の部分部分でそういったものを指定しながら、民間の投資を仰ぐと。場合によっては、公共性の高いところは市も一緒に出資して三セクをつくって、市民がやっぱりいろいろ楽しめるようなものを安価でできるような、そういったものをこれから造る必要があるんじゃないかなと思っております。

例えば、以前言われていたのは、屋内のスポーツ施設、そんな大きくなくても、例えばフットサルができたり、テニスができたり、あとは

日中はゲートボールとかグラウンドゴルフとか、そういったものが冬でも雨の日でもできるような施設、そういったものを求める声が随分前からございましたんで、それは我々行政だけではなかなかできないものもありますので、ぜひ民間と一緒にあって、市のほうでできるだけ負担のない形でそういったものを造って、長井市の都市機能を高めることによって、例えばUターンとかIターン、あるいは若い人たちが今、地方に住みたいって言うてる方が結構いらっしゃる。地方の豊かな自然環境とか暮らしやすい、子育てしやすい環境というのはもちろんなんですけど、けども、そこで求められているのは、都市機能がある程度ないとやっぱり不便だということがございます。

どこの企業とは言いませんけれども、長井市ではないんですが、長井市の周りに大手さんの企業がありますけども、そこの方たちが、住むのは、この辺だったらやっぱり長井市に住みたい。ただ、長井市も都市機能がなかったら、やっぱりそこはもう長井市じゃなくてもいいわけですから、長井市を選んでいただくには、そういった都市機能というのが非常に重要だと思っているところでございます。

続きまして、2点目の本市に居住している外国人や外国人労働者への支援ということで、私からは、本市に居住してる外国人が気軽に相談できる窓口を都市交流推進室に設置してはどうかというご提言でございます。

鈴木富美子議員がおっしゃるように、やっぱり一番は、実習生でいらっちゃって、日本で働いて本国のほうの家族に仕送りしたいというのが、今のところ目的の一番大きいところだと伺っております。ただ、直接あんまり話したことはないんで分かんないんですけども、やっぱり言葉の壁というのはすごくあって、したがって、実は、実現はしなかったんですが、副市長を中心に竹田推進監なども交えながら私もいろいろ

関わって、3年前になるんですか、日本語学校と、それから大学の誘致でいろいろ動いた時期ございました。

そのときに、将来、大学も誘致するけども、一番最初に日本語学校をつくりたいというふうにおっしゃってまして、専門学校ですね。コロナ禍の前ですから、私どもとしても、これから、もっともっと外国人労働力を受け入れるために、法律を変えて実習制度を最大で5年から10年とか、あるいは技能を持てば就労ビザで長くいれるような、そんな制度に変わってきてますので、それには、まず日本語をきちっとマスターしてもらおうと。当然日本に入ってくる外国人の研修生の方というのは、基本的に日本語をある程度分かっていらっしゃる方なんですけども、ただ、やっぱり外国の方は、1人じゃなくて何人かでいらっしゃいますので、なかなか日本語が上達しないと聞いてます。ですから日本語学校というのは検討したんですが、結果として、やはり我々地方自治体に求められるお金がすごいお金で、それはちょっと難しいなということで、そのプロジェクトは一旦休止して、今後どうするか検討しなきゃいけないと思っておりますが、あと同時に、今、国際交流員、セーラさんと、それからスポーツ国際交流員がいらっしゃるわけなんですけども、あと、ALTが9名いらっしゃいますんで、日本というか、長井市民との触れ合いと、あるいは外国人同士での交流の場というのをぜひ持ちたいと思って、いろいろ企画しておりました。

去年でいえば、オリンピック・パラリンピックにホストタウンイベントをやろうと。ドイツのバートゼッキンゲン市のほうにも声をかけて、ゼッキンゲン市の姉妹都市でヨーロッパの4都市、フランス、イタリア、スイス、オーストリア、こういった方々にも日本に来ていただき、中国の双鴨山市にも来ていただくと、あと、タンザニアとリヒテンシュタイン、10か国ぐらい

の国に声をかけて、市民と触れ合ってもらおうようなイベントをやろうと思ってたんですが、それと同時に、やっぱり市内にいらっしゃる外国人の方にも声をかけて市民と交流していただいて、せっかく日本に来たんで、日本文化とか日本の友達ができるようにということなども計画しておりましたが、やっぱりコロナ禍でちょっと今はできないという状況ですが、ぜひ今年、来年度、夏頃にできないかということで、今企画しております。

それとあわせて、コロナ禍が落ち着きましたら、年に2回ぐらいのそういう交流会みたいなものを設けて、せっかく長井市に住んでいただいているわけですから、これからは母国に帰られても交流が続けられるような、そんなこととあわせて、議員提案の推進というんですか、これそんな難しいことではございませんので、もう既に英会話できる職員もたくさんいますし、もともと交流員の方もいらっしゃるわけですから、そんなことを実現していきたいと思っておりますので、ぜひこれからも引き続きご指導いただければと思います。

○浅野敏明議長 青木邦博技監。

○青木邦博技監 私には5つの質問をいただいておりますので、順次お答えさせていただきます。

大雪による工事の遅れ、あと、資材の確保であったり現在の進捗状況については、関連がございますので、続けて回答させていただきます。

公共複合施設につきましては、昨年3月23日に本施設を41億8,000万円でグンゼ開発株式会社から取得する議決をいただき、同日、公有財産購入の契約を締結したところでございます。以降、基本設計、実施設計を進めるとともに、許認可の申請を行いまして、昨年10月から工事に着手しております。12月末までに改良杭工事、地盤改良になりますが、これが完了しまして、今年1月から2月中旬までは、当初より総合工程表におきまして、積雪期間を考慮し冬期休工

期間としておりましたので、大雪による工程や工事中の除雪費等への影響はございません。1月下旬より地下水を抜くウェルポイント工事を施工しております。現在、基礎の掘削工事に入っております。

資材確保や材料高騰の影響ですが、特に鉄骨材につきましては、納期が8か月から10か月待ちという状況が当初から把握できておりましたので、基本設計完了後の昨年8月に材料の発注を行いまして、この3月に製作を完了し、5月から現地建て込みという作業に入る予定でございます。設計と並行して材料の発注を行えるのはデザインビルドの利点の一つでありまして、材料高騰前の発注や早期納入を図ることができます。

3つ目の現在の進捗状況でございますが、目に見える形での進捗はございませんが、基礎の土工事であったり、鉄骨の工場製作等で総合工程表どおりに実績値で2月末で5.7%の進捗率、3月末では6.7%の進捗率になる予定でございます。

続きまして、(4)の施設完成後の周辺道路の計画はでございますが、都市構造再編集中支援事業では、公立置賜長井病院や公共複合施設の建築物だけではなくて、それを生かし中心市街地の活性化や都市機能を充実させ、使いやすさ、暮らしやすさを実感するための周辺道路整備も認可を受けて進めているところでございます。地権者の皆様の多大なご協力を得まして、長井駅前線の新設や西裏線の歩道整備、都市計画道路桐町成田線の照明灯やセットバックなどの面の整備も実施しているところでございます。

このたび都市計画道路長井駅海田線が新規事業採択となり、新年度予算に県営事業負担金として予備設計分を計上したところでございます。都市計画道路長井駅海田線は、現在工事中の桐町成田線とクロスロードとして中心市街地の生命線となる道路でございます。新市庁舎や長

井駅、公共複合施設、長井病院や旧長井小学校第一校舎、道の駅川のみなと長井との回遊性を図るだけでなく、沿線に民間活力を投入できる環境をつくり上げることで、さらなる活性化が期待できる重要な道路となります。

議員ご質問の西裏線の南側の一般県道椿長井線との接続部、北側の一般県道長井駅停車場線との接続部につきましては、この都市計画道路長井駅海田線の進捗に併せ、県道すりつけ部としての取扱いであったり、市道単独の歩道整備であったり、そこら辺を含めましてこれから検討してまいりたいと考えているところでございます。

最後、(5)になりますが、公共複合施設の夜間の開放や喫茶、軽食の提供でございますけれども、施設の設置条例や指定管理者の選定を行う上で2つの施設の営業日、休館日や営業時間等を同じにするか、また、別々にするかも人員や指定管理料に関わってきますので、最もニーズに合った使いやすさを感じる設定にすべく基本となる設定を早急に決定していきたいと考えておりますが、現在のところ遊戯場より図書館の開館時間を長くすることは念頭に置いて進めており、具体的な時間について検討に入っているところでございます。

施設中央部には遊戯室と図書館をつなぎ、西側の緑の広場に抜けることができる交流を促すエリアとして共用部を設けます。正面エントランスから入り、ギャラリーを通り抜けた奥にカフェを設置しますので、目的外使用者の意思を反映させた作り込みになりますが、図書館で本を借りてその本を読みながらくつろぐスペースであったり、遊戯室で遊んだ後に親子やグループで食事を楽しむスペース等、カフェは重要な位置づけになると考えております。店構えであったり、メニューにつきましても、市側の要望を取り込んでいただきながら今後進めていきたいと考えております。

○浅野敏明議長 新野弘明総務参事。

○新野弘明総務参事 私のほうには、1つ目の6番目、公共施設への市営バスの停留所の設置について、そして長井駅前停留所の関わりについてご質問いただきました。

まず、公共複合施設の利用者の利便性向上を図り、多くの高齢者にも施設を利用していただくため、市営バス停留所を施設の入り口に近い駐車場側に新たに設置するよう、所管課の、建設課のほうと調整しているところでございます。また、フラワー長井線や山交バスの接続している長井駅前の市営バス停留所につきましては、バス乗換えの拠点となっておりますので、市内全域のバス停から移動が可能な停留所となっております。その長井駅前のバス停と公共複合施設のバス停、そこは結びたいと思っておりますので、市内各所から市営バスを利用して利用することが可能となります。交通弱者の方でも安心して施設を利用できるよう、様々、今後検討してまいります。

○浅野敏明議長 梅津義徳厚生参事。

○梅津義徳厚生参事 私のほうには、現在ある支援センターと公共複合施設の支援が分散しないのかというご質問にお答えをいたします。

令和5年度にオープンする公共複合施設には、子育て世代活動支援センターとして子育てをサポートする機能が備わることとなり、その1つとして、妊産婦や子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての相談の場を提供する子育て支援センターを開設いたします。

子育て支援センターは、現在、市内にある「まぎ〜れ」、「いろは」、そしてこの4月から新たに開所する予定の「にじいろ」がございまして、それぞれの特色を生かし、育児、健康相談など、妊産婦や子育て家庭の不安や悩みを解消する支援を行っております。それぞれの子育て支援センターで受けた相談などで特に支援を必要とする家庭があれば、子育て推進課、健

康スポーツ課をはじめ、関係する課に連絡が入り、市の子育てワンストップサービス機能により情報の共有と関係課による連携した支援を展開しております。

公共複合施設には、市の職員が子育て家庭からの相談を直接受ける機能はありませんが、そこに開設される子育て支援センターは、現在あるそれぞれの支援センターと同じように、市の関係課等との連携が図られるようにいたしますので、支援の分散ではなく、より広く支援を行う体制が充実することになると考えているところです。

また、公共複合施設では、一時的に保育が必要なお子さんを預かる一時預かり事業も実施いたします。なお、有償ボランティアによる子供の見守り事業のファミリー・サポート・センター事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により利用希望者がいない状況のため、現在休止をしておりますが、公共複合施設の開所に合わせ、ニーズ等の把握をしながら事業の再開を検討してまいります。

公共複合施設には、図書館や屋内遊戯施設もあることから、悩みなどを抱える子育て世代の相談者が気軽に訪れながら相談ができ、また、必要な支援を受けられる環境が備わることと考えているところでございます。

○浅野敏明議長 赤間茂樹産業参事。

○赤間茂樹産業参事 私のほうからは、市内事業所の訪問についてと、それから外国人労働者の把握に関してお答えを申し上げたいと思います。

議員がおっしゃいますとおり、市内の事業所がどのような状況であるか、現状、現場を把握していくことは非常に重要なことだと私も考えているところでございます。以前、産業活力推進課を設置していたとき、企業回りをするために企業調査専門員を配置しておりまして、そのときは逐次現状把握ができていたと認識しております。現在はコロナ禍ということもありまし

て、必要なときに必要なときだけ企業振興の担当者が企業訪問をしているという状況でございます。

なお、各種制度的な補助金の申請または市への届出の書類など、随時、商工振興課の窓口には企業の方がいらっしゃいますので、その際には窓口で情報交換などをさせていただいているところでございます。

また、市内全ての企業等ということではないんですが、現在メールでの情報交換のやり取りもコロナ禍ということもあって増えてきておりまして、そのような中で市内の状況を把握しているという状況でございます。

続きまして、外国人労働者に関しての実態把握についてでございますけれども、ご存じのとおり、国では、平成29年から外国人の技能実習生の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律が施行されたわけでございます。これに伴いまして、市内にも外国人実習生と言われる方々が多くいらっしゃいました。人手不足という状況も相まって実習生を受け入れる企業が非常に多く出てきたということから、翌年の平成30年度には長井商工会議所で企業人材確保研究会という名称の委員会を立ち上げまして、外国人技能実習生制度の理解や情報交換を行ってまいったところでございます。長井市からも私が委員として参加させていただきまして、市内の状況を聞いたり、現状の把握をしていたという状況でございます。

この研究会につきましては、その後、コロナもあり、外国との行き来が困難になってきたということもありまして、2年間でこの活動は休止しているという状況でございますけれども、その開催していた時期でも既に、製造業を中心に建設業、それから福祉施設でも外国人の技能実習生を雇用しておられました。現在は、後で商工振興課長からの答弁が詳しくあると思っておりますけれども、外国人労働者の実態把握については労

働局の管轄になっておりまして、多分国のほうで一括して調べていらっしゃいます。

現状、長井市で分かる範囲内で代表的なところで4事業所にお伺いしたところ、仮にA社では現在3か国から10名いらっしゃると。B社では5名、C社では2名、D社では今途切れてますが、スムーズにいけば4月からまた雇用するという予定があるというようなことです。出身国につきましては、ベトナム、カンボジア、モンゴル、インドネシアが多くいらっしゃいまして、これらは製造業や建設業に携わっている方々です。福祉施設関連につきましては、今のところフィリピンが最も多くて、そのような状況になってるということでございます。各企業とも、やはり人手がとにかく欲しいという状況でございますので、新型コロナウイルス感染症の状況いかに難しいわけでございますけれども、今後も随時受入れを希望しているということでございます。長井市といたしましても、今後とも人材確保研究会のメンバーを中心に情報の共有を図ってまいりたいと考えているところでございます。

○浅野敏明議長 佐藤 久商工振興課長。

○佐藤 久商工振興課長 私には2点ご質問いただきましたので、お答え申し上げます。

まず1つ目でございますが、市内の事業所で働く外国人労働者の数、あと、雇用している事業者数でございますが、山形県労働局の公表データによりますと、令和3年10月現在、ハローワーク長井管内におきましては、外国人を雇用している事業所数は88か所、外国人労働者の人数といたしましては302名となっております。また、302名のうち、いわゆる技能実習生の方は154名いらっしゃいます。そのほとんどが製造業に従事しておりまして、次いで建設業、医療・福祉関連となっております。

続きまして、2点目でございますが、市外事業所で働いていらっしゃる方で市内に住んでお

られる外国人労働者の実態把握、あと、近隣市町との連携でございますが、長井市に住んでおられる外国人の方は、長井市住民基本台帳によりますと令和3年12月末現在324名いらっしゃいます。ただ、この324名の方々が働いておられるのか、働いていらっしゃらないのか等々につきましましては、個人情報というところもございしますので、把握はしていない状況でございます。

また、外国人の実態把握ということで、近隣市町村との連携、こちらについても現在のところは特になく状況でございます。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 公共複合施設について厚生参事にお伺いいたします。

今、コロナ禍でファミリー・サポートができないということをお聞きしました。そうしますと、今後なさるといことでしたので、土日の窓口などはどのように考えていらっしゃるか、お聞きします。

○浅野敏明議長 梅津義徳厚生参事。

○梅津義徳厚生参事 公共複合施設の運営、今お話ありました曜日の開設とか時間については、ただいま検討中でございます。多機能型図書館や屋内遊戯施設と同じ時間の営業とするのか、また、必要性に応じまして子育て支援センターについて別な時間を設定するのか、そういったことも含めてただいま検討しているところでして、土日の事業をやるのかどうかというのも今後決めていきたいと考えているところです。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 これからということなので、土日の需要も私は多いと思います。先ほど市長がおっしゃったように、このまちに買物できるような施設とか、例えばパーマ屋さんに行きたいとかも含めてぜひ検討していただきたいと思います。

あと、技監のほうから、軽食、夜の営業につきましてもこれからだということでしたので、

本当にみんなが使い勝手がよい、みんながあそこに集まってこれるような施設にさせていただきたいと思いますので、技監からも市長からも、ぜひ施設の中につきましましては市民の要望に応えていただきたいと思います。

外国人の労働者のみならず、長井市にいらっしゃる外国人についてお聞きいたします。

長井商工会議所の中に、企業人材確保研究会というのがあるとお聞きしました。このコロナ禍が収まれば、まだまだ建設業でも人材足りないわけですので、ぜひ会議所と一緒に頑張ってどんどん労働者を確保してほしいと思います。やはり知らないところから来て孤独になることもあると思いますので、ぜひ企業と会議所と市といろいろと話し合いをしていただいて、外国人の方が長井市を去られたとしても、長井はよかったなど、また労働者として戻ってくる可能性もあるのではないかと思います。産業参事の考えもちょっとお聞きしたいと思います。

○浅野敏明議長 赤間茂樹産業参事。

○赤間茂樹産業参事 企業人材確保研究会の中でお話ししていることの一つとして、今後、技能実習生が増えてきた場合、まず企業側として一番困ることは住まいなんですね。この住まいについては、行政も協力できるだろうということでお話をさせていただいております。全体的な見通しも踏まえて、どういったところに住んでいただいたらいいのかということもこれから相談に乗っていききたいなと思っています。

今、県内でもハローワーク長井管内の有効求人倍率、特に正社員が一番高い状態が多分3年近く続いてると思います。それだけ人手不足の地域だということは十分理解しておりますので、いない分、どこからか来ていただくといった場合に、どうしてもやっぱり外国人という一つの選択肢が出てまいると思いますので、今後とも商工会議所と一緒に連携しながら、企業の人材の確保について、また研究会が再開できるかど

うかも含めて話をしていきたいと考えております。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 ぜひ、空き家もありますし、その辺をうまく利用して、市としてもいろんな援助をして人材の確保に努められればいいかなと思います。ぜひ今後ともみんなで協力しながら、複合施設も含めてやっていただければと思います。

私からの質問は以上です。ありがとうございました。

○浅野敏明議長 ここで暫時休憩いたします。

再開は午後1時といたします。

午後 0時00分 休憩

午後 1時00分 再開

○浅野敏明議長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

平 進介議員の質問

○浅野敏明議長 次に、順位3番、議席番号9番、平 進介議員。

(9番平 進介議員登壇)

○9番 平 進介議員 令和4年3月定例会に当たり、共創長井として代表質問を行います。

質問に入る前に、申し上げます。今、世界の平和が脅かされております。ロシア軍によるウクライナへの侵略戦争に強く抗議するとともに、即時完全撤退を求めるものであります。

それでは、質問に入ります。

今、長井市は、老朽化が著しい公共施設等の大規模整備事業を行っております。これらの施

設は、いずれも施策の優先順位や財政事情等により先送りされ、再整備が待ったなしの状態となっているものであります。また、教育と子育てをまちづくりの真ん中に据え、公共複合施設の整備に着手するなど、持続可能な長井市の実現に向けてかじを取り、進めております。整備に当たっては、将来への負担を軽減するため、国、県等の財源を少しでも多く確保し、事業に取り組もうとする強い姿勢が見られます。こうした財源の確保に取り組む姿勢は、これまでの市行政にはなかなか見えなかったところであります。より財政に負担のかからない事業メニューを模索しながら、施設整備や行政運営を行おうとする内谷市政と職員の頑張りを高く評価し、敬意を表するものであります。今後とも引き続き真摯に市民目線で行政運営を展開し、市民参加型の持続可能なまちづくり、支え合う地域づくり、寄り添うまちづくりの推進に向けて一層の努力と活躍をご期待申し上げます。

それでは、今般、議会に示された令和4年度施政方針について質問を行います。

施政方針の中の各個別施策の主な取組から、特に2つの個別施策について具体的な事業展開などについて提言を含めてお聞きしてまいります。なお、1については市長から、2については副市長から答弁をお願いいたします。

1、令和4年度施政方針、安心・安全分野について、みんなで築く安心・安全なまちづくりから。この項では、大きく4点についてお聞きいたします。安全・安心なまちづくりは、市民と共につくり上げていくことが大事だと考えておりますので、そうした観点からお聞きしてまいります。

(1) 防災対策としての砂防堰堤の推進について。

施政方針で述べられているように、近年、地球温暖化等の影響により全国各地で豪雨や地震などの大規模災害が頻発しております。長井市